

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	文化財課 担当課長	西山 朗
文財－04 史跡環境整備事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	文化財課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針
			史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

1 事業の目的

対象	国等指定史跡
意図	国等指定史跡の整備及び保存・活用を行うため。
効果	国等指定史跡の保存・活用を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・国等指定史跡の環境整備のため、史跡永福寺跡の苑池復元整備工事及び史跡
北条氏常盤亭跡の防災工事実施設計業務等を行った。
・公有地化した史跡の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	174,607	当初予算(千円)	304,375	
	国県支出金	103,794	国県支出金	185,577	
	地方債	48,500	地方債	58,200	
	その他	49	その他	31,311	
	一般財源	22,313	一般財源	29,287	
	人員配置数	3.0	人員配置数	3.5	
	人件費(千円)	22,963	人件費(千円)	27,758	
事業経費運営	総事業費(千円)	197,570	総事業費(千円)	332,133	
	市民1人当りの経費(円)	1,113	市民1人当りの経費(円)	1,878	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市民等の地元の歴史、文化への理解を深めていくため、史跡の積極的な公開、活用を行うべきであり、継続的な整備及び維持管理が必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	貴重な文化財である史跡の公開、活用は市民ニーズも高いため、適切な維持管理を図るとともに、計画的に整備を進めて行く必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	永福寺跡苑池復元工事及び北条氏常盤亭跡防災工事は、大規模な工事を伴う事業であり、計画通りに円滑に進める必要がある。 史跡の指定数が多く、対象となる範囲も広範なため、史跡内の管理が十分にできていない。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	整備事業を円滑に行うため、関連課と連携を密にした。 史跡の維持管理については、市民共同事業を提案し、緑のレンジャーとの協働に向け、協議を行った。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	史跡永福寺跡の整備終了後、施設の円滑な管理を行うため、指定管理者制度を含め、早急に体制・方法を整える必要がある。 永福寺跡の整備終了に伴い、今後の史跡整備の方向性を検討する必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	指定史跡名勝天然記念物の件数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	77	18	13	1	41	28	16	12	9
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	指定文化財件数は必要な整備や管理、調整の件数、規模と比例する。市の人口規模や財政規模ではなく、文化財の件数を指標として、経費を確保するとともに、体制を整備していく必要がある。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	整備及び維持管理を実施した史跡数					単位	箇所	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
史跡の整備及び適切な維持管理を行うことで、文化財の価値を周知するとともに、近隣住民や来訪者の満足度上昇に寄与するため。	目標値	10	10	10	10	10		10		
	実績値	9	8							
	達成率	90.0%	80.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	整備事業のほかに、近隣住民の要望等に応える形で伐採や下草刈りを実施しているため、27年度に実績値が低下したのは前年度に要望に著実に答えて実施できたためである。									

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---